

令和3年3月31日

スタッフ各位

株式会社 徳
有限会社ノリックス・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

2月に緊急事態宣言が解除となりましたがコロナ禍の影響は未だ収束せず、当社も客数の減少など大きな影響を受けています。もちろん影響を受けているのは当社だけでなく、他の外食・中食の飲食店のほとんどが苦境に苦しんでいます。また飲食店だけでなくその周辺業界（仕入れ業者等）も窮状にあえいでいる現状です。

現在、私どもの会社は食材を始め、たくさんの協力業者様にお世話になっています。私は卸業者さんの配達の方とたまに立ち話をするがありますが、ほぼ売り上げは下がっていると聞きます。

協力業者様との関係というのは「出来るだけ安いところから仕入れて、もっと安いところがあれば乗り換える」という考え方が一般的です。つまり買ってやっているのだからこっちが優位なのは当たり前だという考え方です。決して間違いとは言えませんがそこには対等意識としての「パートナーシップ」という考え方はありません。私たちはこんな時だからこそ「苦しい時に一緒に頑張りましょう」という共苦の意識を持って協力業者の方々と接していくべきだと思います。これは綺麗事ではなく、その方が結局は当社が生き延び、強くなり、豊かになるという理由です。「周りが敵だらけ」のなかでビジネスを行うのと「周りに味方が多い」ことを比べると後者の方が経営環境は格段いいことは当然です。

言い換えれば飲食業というのは共苦の精神を持っていなければ生存できないビジネスとも言えます。周りを見るだけで当社の協力業者さんは食材卸の業者さんを始め、ガソリンスタンド、毎週欠かさず配達してくれる個人店のお餅屋さんや花屋さん、50年のお付き合いとなる精米したてのお米を毎日配達してくれる米屋さん、経営を支えてくれている税理士や労務士の先生、食品衛生関連やオリジナルの容器を作ってくれている業者さん、クリーニング屋さん、契約農家の方など業種は多岐に渡ります。当社のスタッフの皆さんにおかれましては協力業者の方々にはそのような思いを持って接していただき、お声がけを積極的にしていただくことを強く希望いたします。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々